

トルコ震災支援募金活動（2月14日）

トルコとシリアの国境近くで2月6日に起きた巨大地震による犠牲者は現在37,000人を超え、その数はまだ日ごとに増えている状況です。自然災害による犠牲者数では東日本大震災を上回る数とのことで、付近では100年に一度の大惨事だと言われています。

約130年前に和歌山県串本沖で座礁したトルコの船の乗組員を日本人が救出をしたことをきっかけに、これまで両国どちらかに危機や災害がある度に援助・支援し合う関係が続いています。生徒たちはそのことを教科や道徳の授業でも学んでおり、今回のニュースを受けて2年生がその支援のための募金活動を行うことになりました。活動に先立ち、前日（13日）の昼休みには放送でこれまでの日本とトルコの友好関係について説明し、募金の協力をお願いしました。

そして2月14日（火）、朝8時過ぎから2年生のクラス代表が校門付近に立ち募金を呼びかけました。昨日の放送やはなまる連絡帳の効果もあり、多くの生徒が募金し応援してくれました。活動は2月16日（木）まで行いますので、引き続きご協力お願いします。

